

一問一答方式による



一般質問

企業誘致



梶谷 洋夫

問 経済情勢や社会状況が極めて厳しい中、企業誘致に向けて県、経済界等に要請しているようだが、具体的にどういう考えからそういう発想になったのか。

市長 市だけでは情報を十分把握するのは難しい。県で行っている企業立地セミナーに参加させていただくとか、あるいは企業訪問で情報をキャッチし、その中で岩沼市のPRをさせていただいています。県、経済界等に可能な限り要請していくべきだと思います。

設置地区の同意は？

問 市内のどこの地区に企業誘致を考えているのか。

市長 工業系の土地利用を計画している相野釜、矢野目西、中坪荷揚場の3地区の一般保留地区地域の指定を県の方に申し出をしています。

問 企業誘致の可能性が

るといいますが、地権者の同意は頂いているのか。

副市長 一般保留地区指定について地域の皆さまに説明をし、アンケート調査もして、ある程度ご理解を頂いています。

問 工業団地的な二つの地区（矢野目と相野釜）はどのように進めていくのか。

副市長 県には臨空都市整備基本計画に基づいた内容でお願いをしています。手法まではまだ決定はしていません。これから企業誘致に向け、県との調整を進めていきます。



相野釜地区

放課後児童クラブ 分室整備



国井 宗和

問 放課後児童クラブの分室の設置場所等、事業の進捗状況はどこまで進んでいるか。

教育長 岩沼小学校内の、のびやか教室東側に1000平方メートル規模の木造平屋建ての建設や外構等の設計を進めています。

迎えて混雑の懸念は

問 岩沼小学校に開所する分室の形態や活動は、どのようなになるのか。

健康福祉部長 ほかの児童館と同じような内容になります。運営については、地域に溶け込んだ形でやっていけるよう検討しています。

問 帰宅時は岩沼駅に向かう道路で交通に差し障りがある。混雑する懸念があるのではないか。

健康福祉部長 登録児童の送迎については、5時以降に保護者が迎えに来る形をとって、北側の道路も広くないので東側の正門のところに車を止めて、そこから歩いて分室まで行くように考えています。

問 ほかの児童館は、迎え時の問題はないか。

健康福祉部長 登録児童数にもよりますが、時間が重ならないようにしています。大きなトラブルはありません。



岩沼小正門

地産業者の仕事



渡辺ふさ子

問 自治体問題研究所理事長の岡田知弘氏は「人間の命の存続、あるいは暮らしそのものの維持可能性をめぐって、私たちは大変危機的な局面に立っている。今、その認識の下、人間生活の再生産の場という根本的視点で、地域再生に何が求め